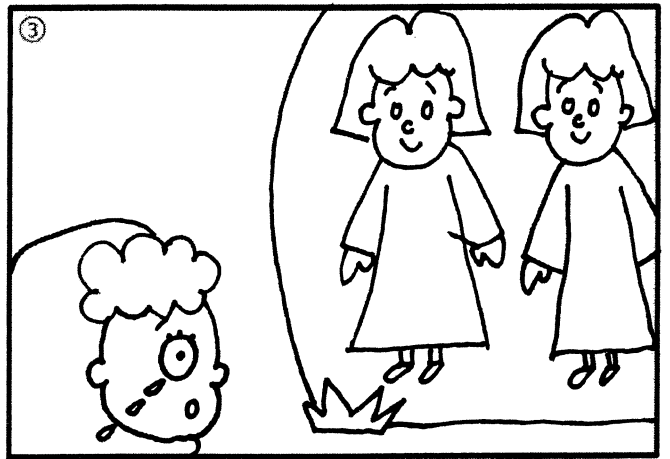
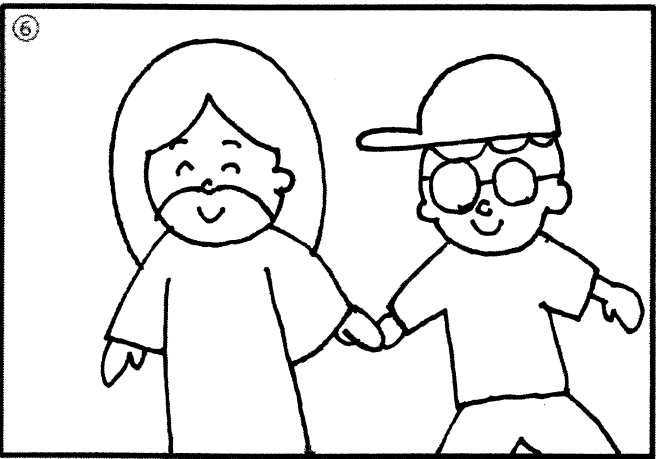
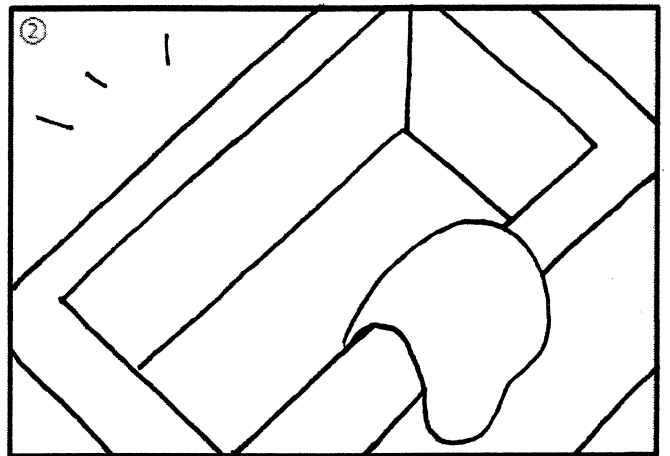
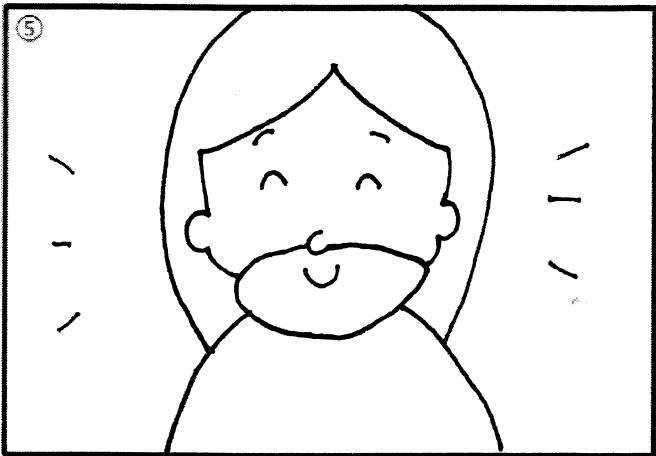
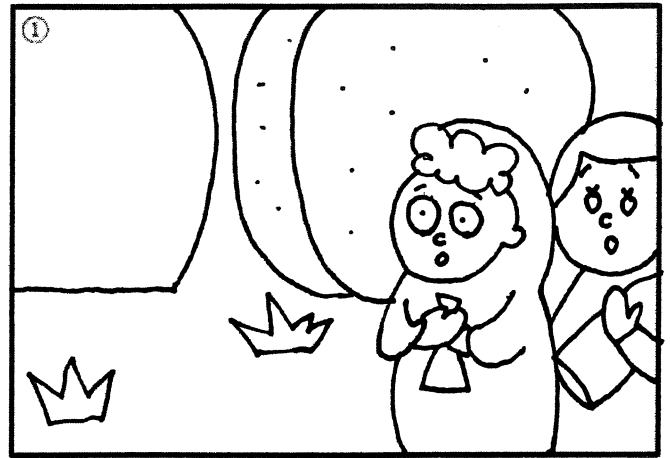
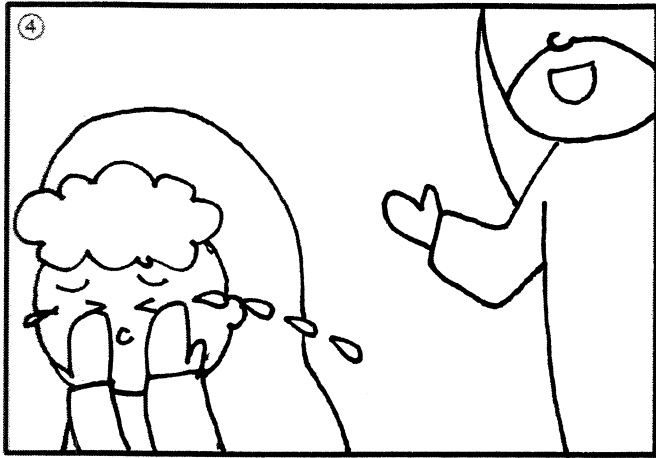


4月5日 十字架による救い ヨハネによる福音書 19・28～30

1. 今日は「しゅろの主日」…イエス様が子ろばに乗ってエルサレムに入ったことを記念する日です。
2. ところがみんなが喜んでお迎えしたはずのイエス様は、エルサレムに入って一週間もたたないうちに捕まえられ、十字架にかけられました。
3. 人々はすっぱいぶどう酒を海綿（スポンジのようなもの）に染み込ませ、ヒソプというハーブの枝といっしょに木にくくりつけてイエス様の口にさし出しました。
4. 「すべてが終わった」と、言って死なれました。
5. 神様はこの世界を愛しておられました。でも人間は神様から離れ、自分の思いどおりに生きようとしていました。神様を無視して自分の考えだけで生きることを「罪」と言います。
6. でも、この十字架はただ苦しんで終わったかわいそうなできごとではありません。神様の救いがなしとげられ、罪と滅びに打ち勝った勝利のできごとです。

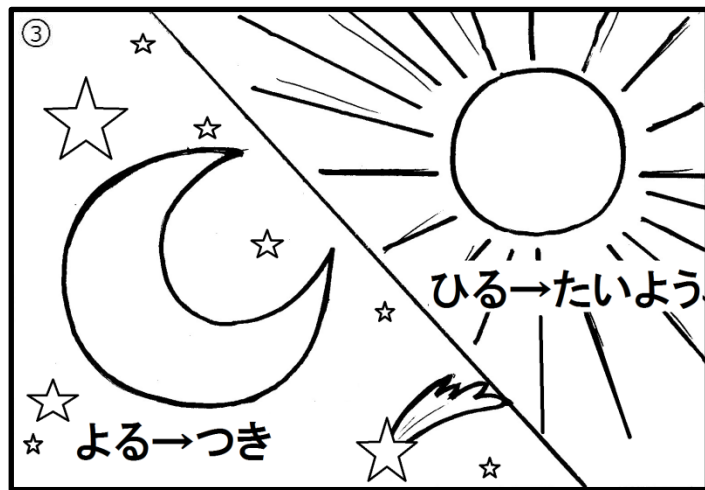
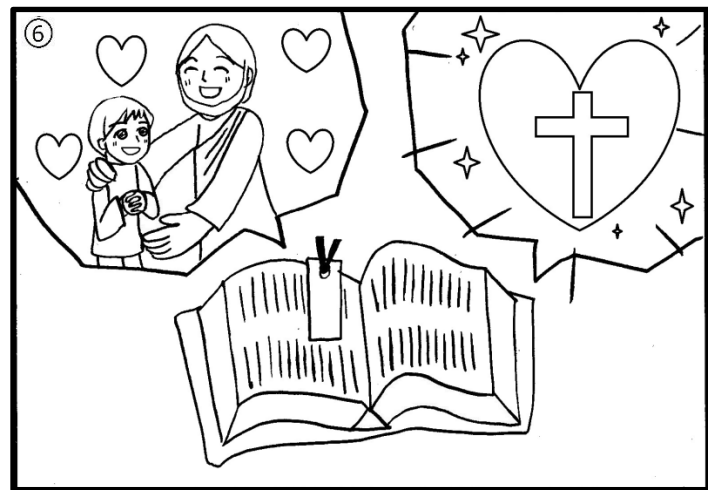
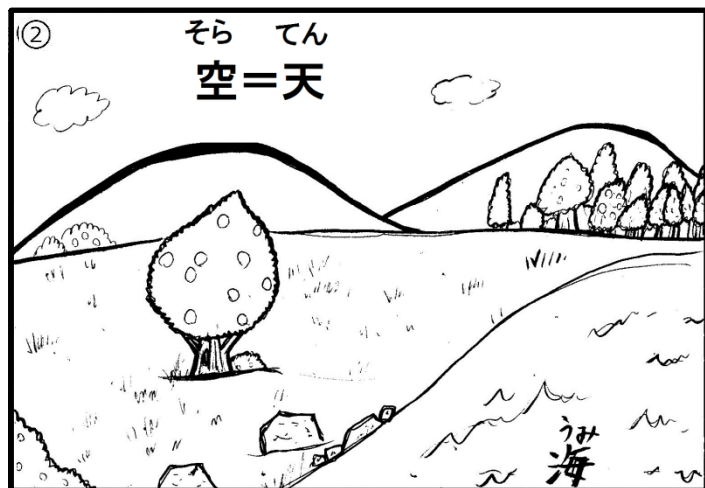
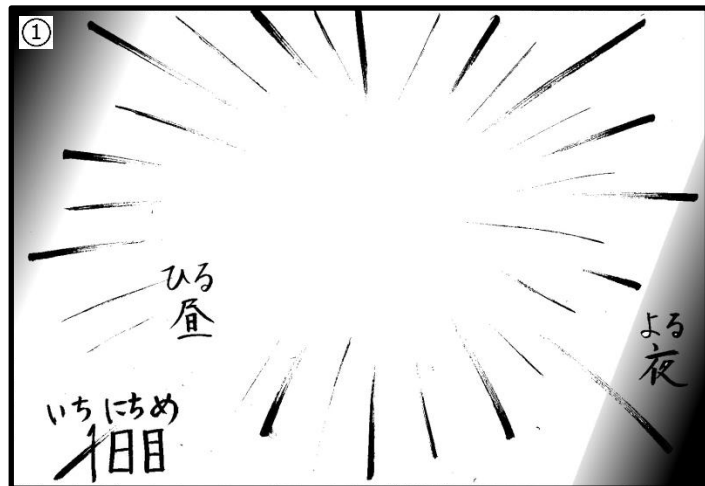
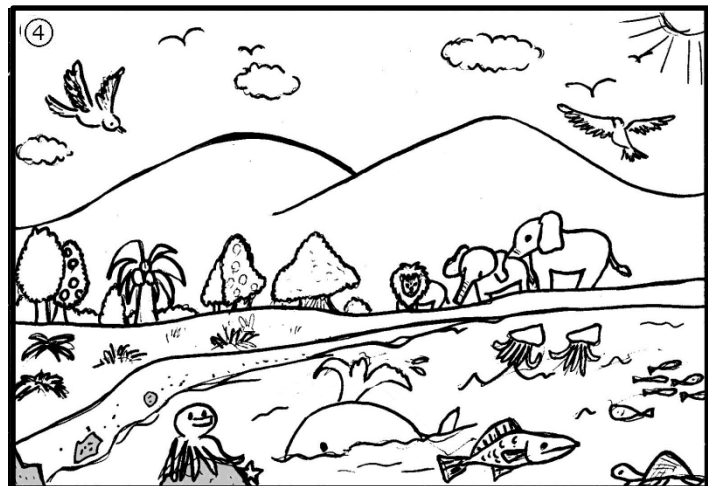
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



4月12日 「復活の主との出会い」 ヨハネ20・11～18

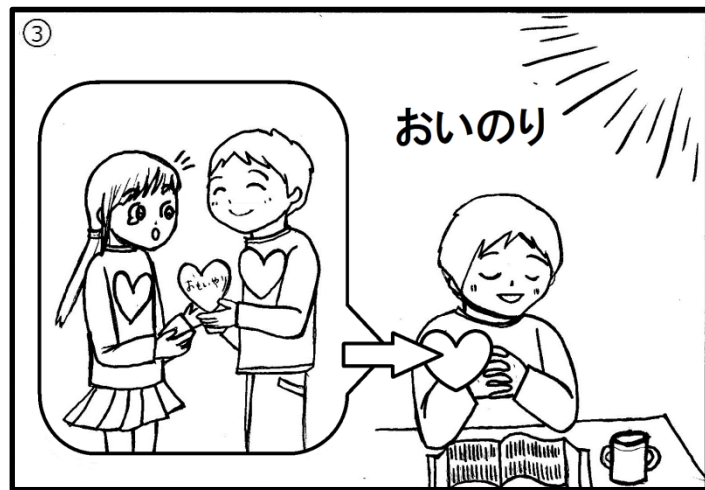
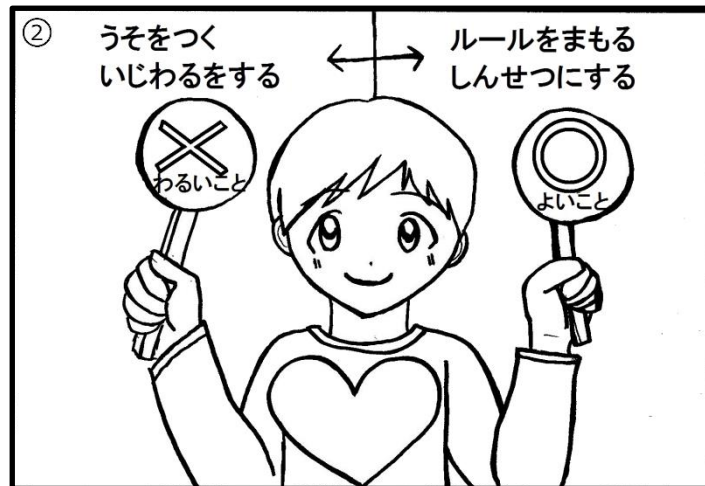
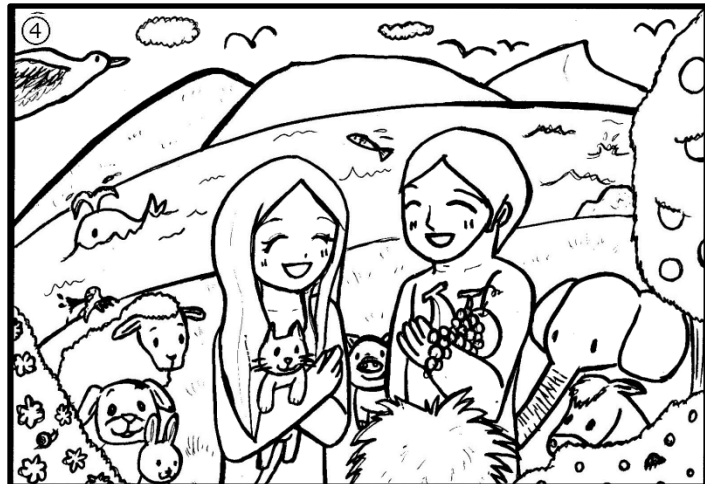
1. イエス様の体は金曜日のうちに墓に葬られた。日曜日の朝早くマグダラのマリア達がお墓に行く。
2. ところが、行ってみるとお墓は空っぽだった。
3. マリヤが泣きながら墓の中をのぞくと、墓の入口には白い服を着た2人の天使が立っていた。
4. イエス様はマリヤに語り掛けるが、マリヤは泣いているのでそれに気が付かない。
5. マリヤが振り返ると、そこにいたのは「ラボニ」イエス様だった。
6. よみがえられたイエス様は今も生きておられる。

※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



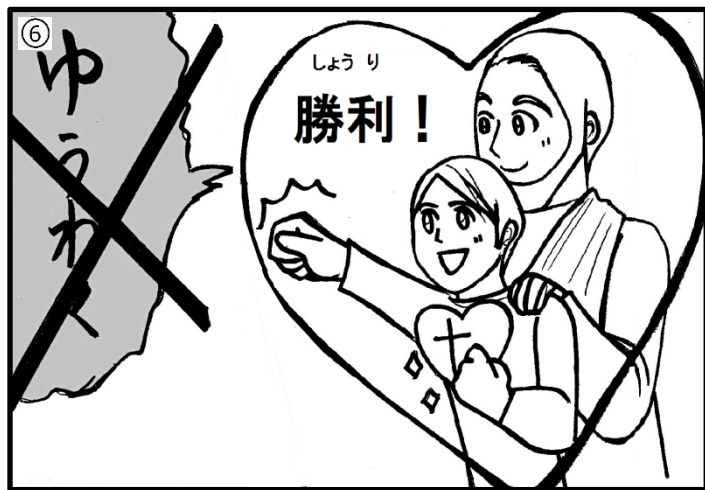
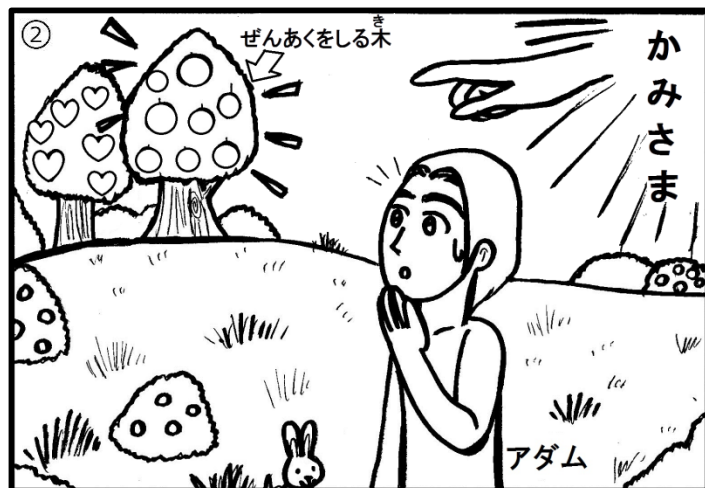
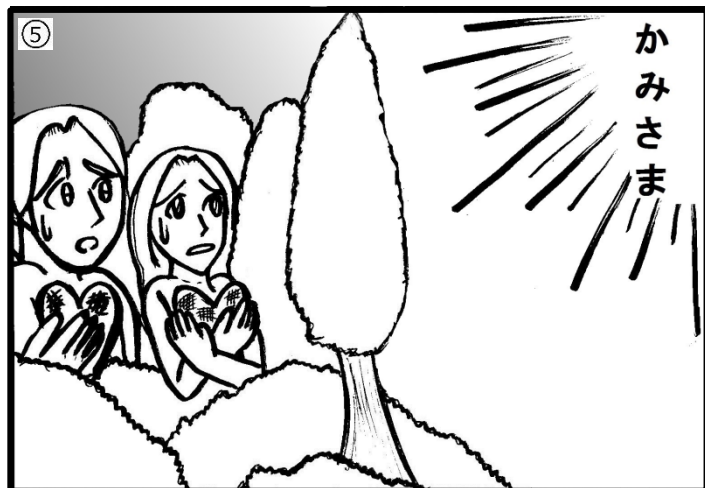
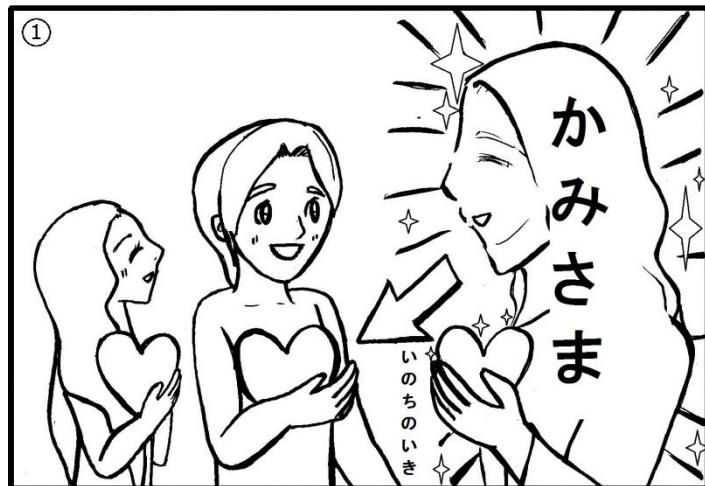
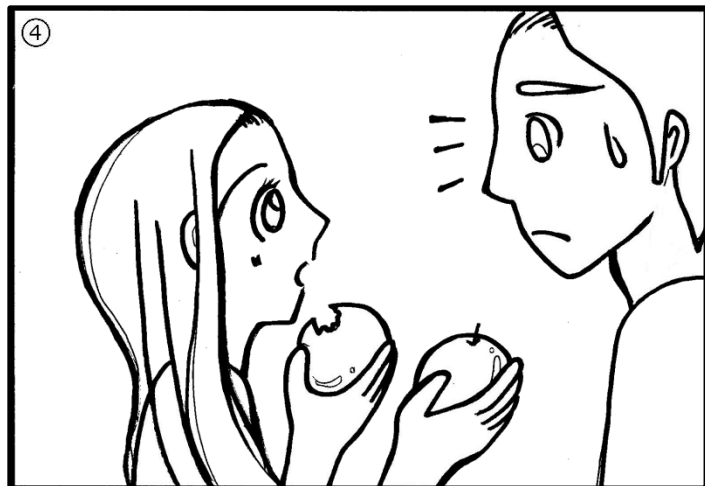
4月19日 天地を造られた神様 創世記 1・1～31

1. まず神様は「光、あれ」とおっしゃいました。すると光ができました。神様は光とやみとを区別されました。昼と夜ができて、一日目は終わりました。
2. 二日目、「水は上下に分かれ、空と海になれ」。神さまは大空を天と名づけられました。三日目、陸と海ができました。陸に草や木が生えるようお命じになると、そのとおりになりました。
3. 四日目、昼に輝く太陽、そして夜に光る月ができ、数えきれないほどのうつくしい星が造られました。
4. 五日目、海は魚やその他の生き物であふれ、空はあらゆる種類の鳥でいっぱいになりました。六日目、さらに神様が命じられると、地上に家畜やけものなど、あらゆる種類の動物が造られました。
5. 六日目、さらに「地と空と海のあらゆる生き物を治めさせるために、われわれに似た人間を造ろう」。六日間ですべてを造られた神様は、それらをごらんになって大変満足されました。
6. この神様の言葉である「聖書」に学び、神様のお心を知れば知るほど、私たちの歩みも安全で、確かなものになります。聖書のみ言葉は私たちに進むべき道を教え、私たちを励まし、罪に汚れた心を新しく造り変えることさえできるのです。



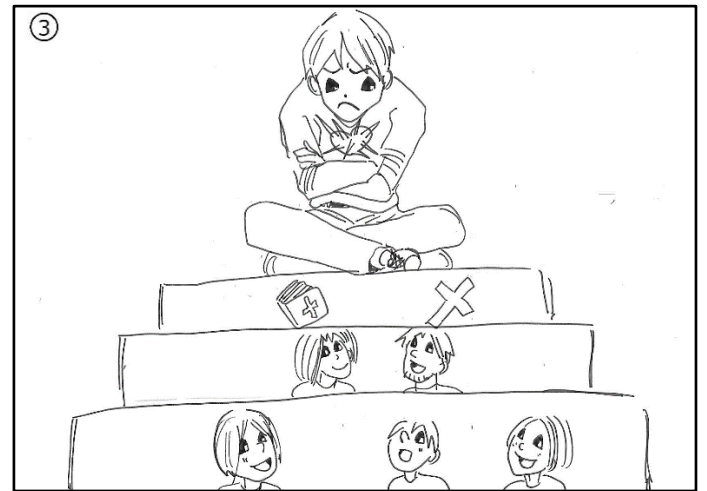
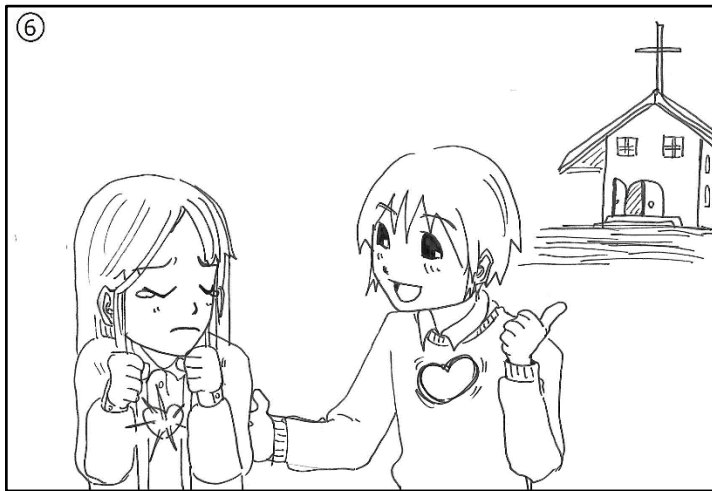
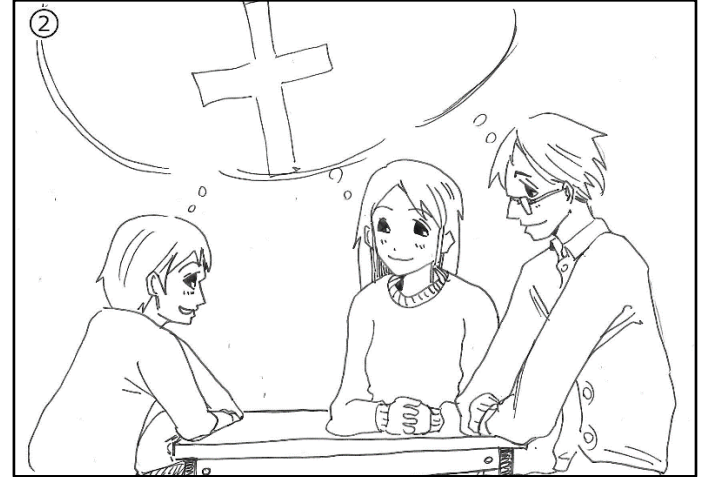
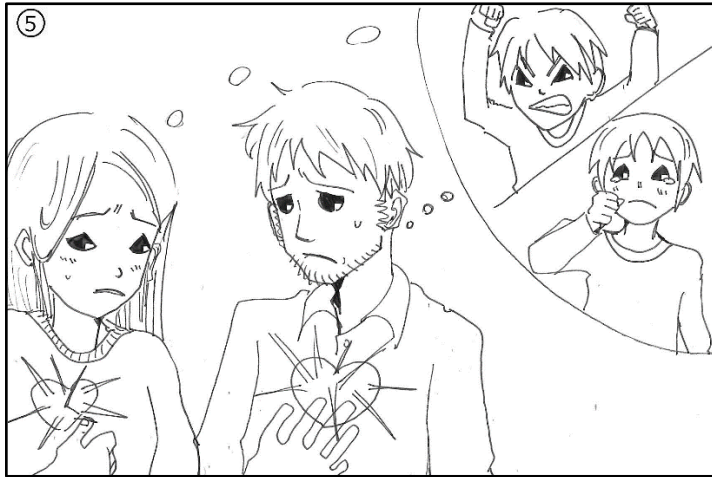
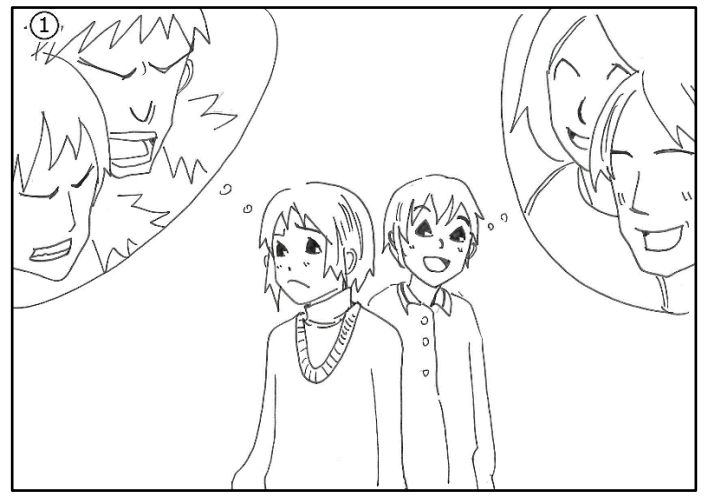
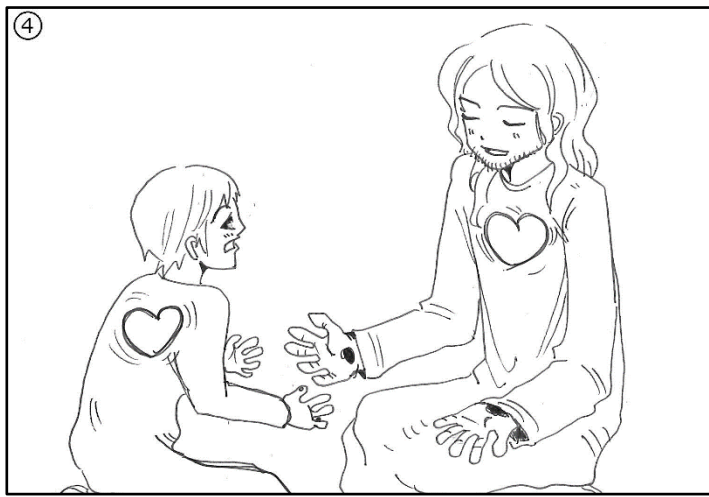
4月26日 人間を造られた神様 創世記1・26~31

1. 神様は言われました。「さあ、人をわれわれのかたちに、われわれに似ている姿に造ろう！」
2. 人に親切にすることや、決められたルールを守ることが「良いこと」、人に意地悪をしたり、うそをついたりすることが「悪いこと」だとわかります。それは人間が、きよく正しい神様に似せて造られたからなのです。
3. 神様は私たちと一緒にいたいと願ってくださり、私たちとお話したいと願ってくださっています。お友だちを想う気持ち、悲しむ気持ちこそ、神様に似たものとして造られた証拠。
4. 「われわれのかたちに、われわれにかたどって人を造り、これに海の魚と、空の鳥と、家畜と、地のすべての這うものとの治めさせよう」。
5. 世界中のあちらこちらで、美しい自然がめちゃくちゃにこわされたり、人間同士が殺し合ったりしてきました。それは、人間が「自分さえよければいいんだ」という考えで生きてきたからなのです。
6. 神様はご自分が造られたすべてのものを見て「非常に良かった」と言われました。私たちが造ってくださった神様に「ありがとう」の気持ちで毎日お祈りし、賛美しましょう。



5月3日 罪の始まり 創世記 2・15～17、3・1～7

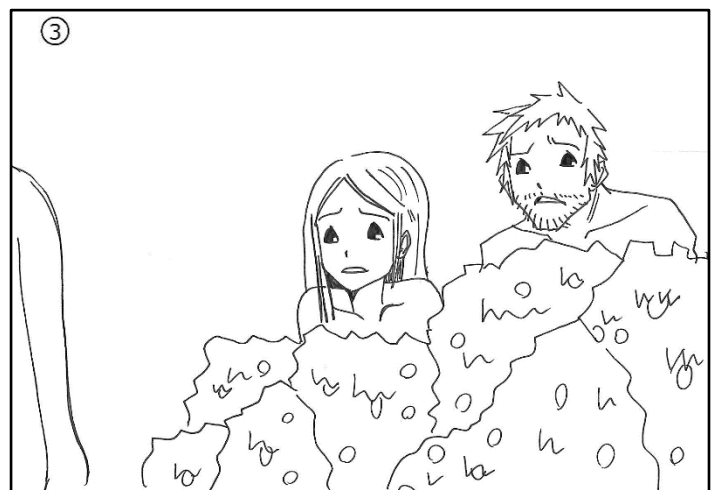
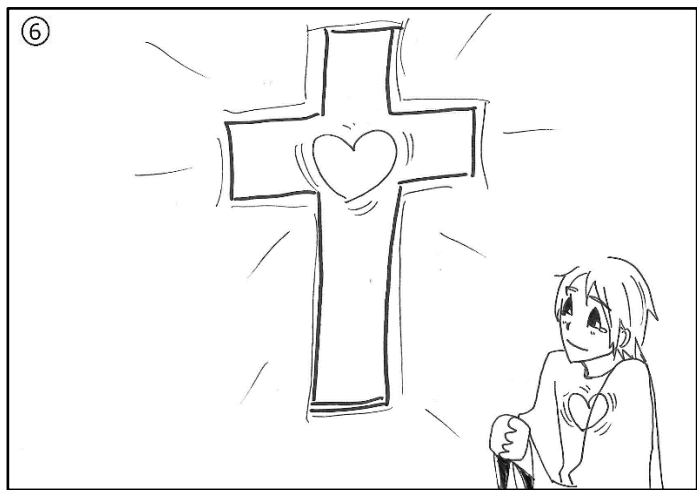
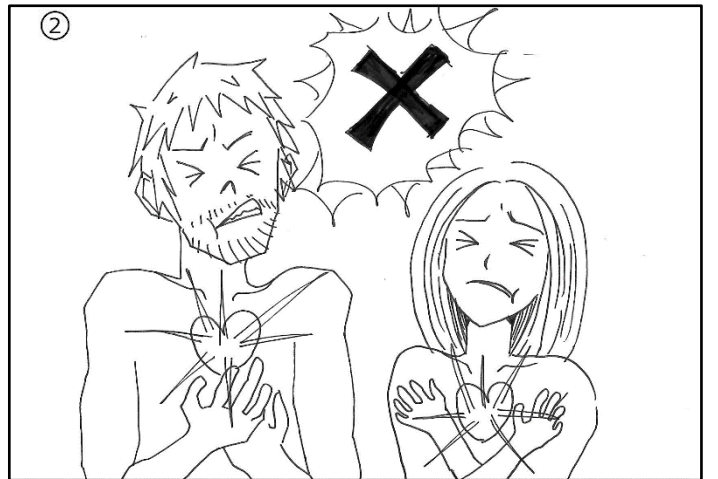
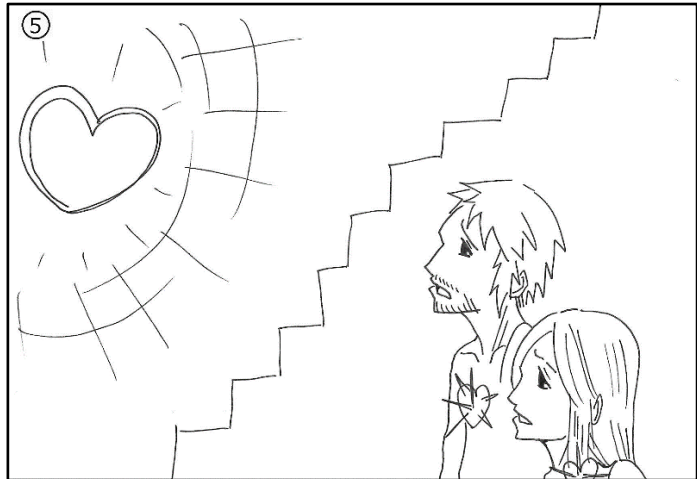
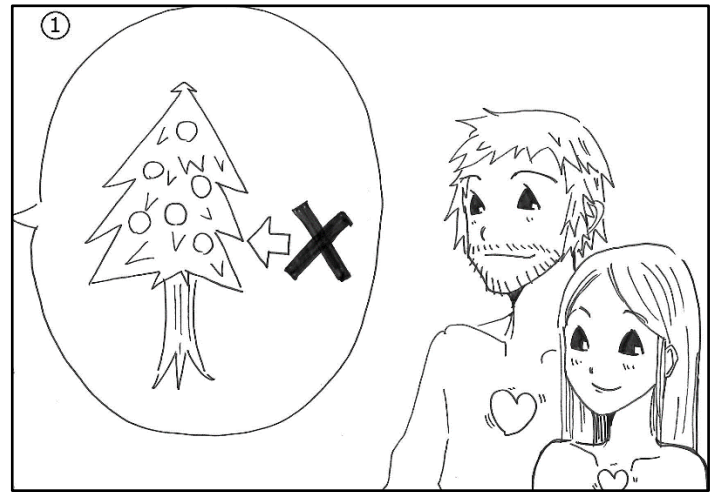
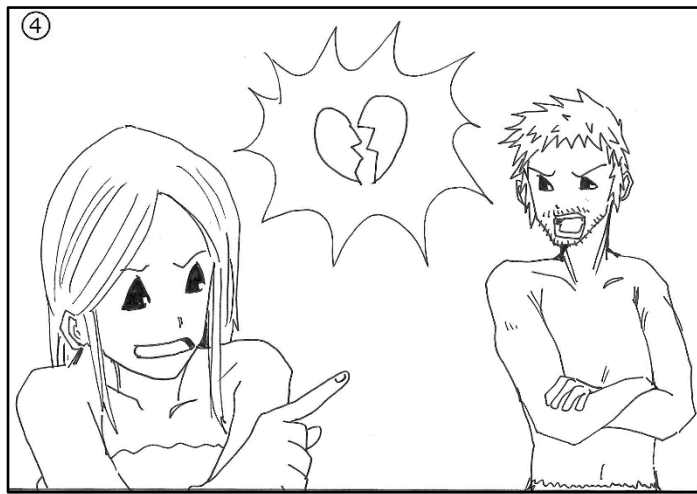
1. 私たち人間は造り主である神様から「命」を与えられました。「命の息」を吹き入れられたのです。私たちはこの神様と心が一緒にいれば、生かされ続けるのです。
2. 神様は、アダムさんとエバさんにとっても大事な戒め・ルールを与えられました。「善悪を知る木からは取って食べてはならない。それを取って食べると、きっと死ぬであろう。」
3. 悪魔がへびの姿で誘惑してきました！悪魔の狙いは、人間を神様から引き離して命を失わせること。神様は「取って食べると、きっと死ぬ」と言われたのに、悪魔は「決して死ぬことはないでしょう」とウソを言いました。
4. エバさんはどうしても「善悪を知る木」の実が欲しくなって、神様の言葉に背いてでも食べたくなり、遂に手を伸ばして食べ、そして自分だけでなくアダムさんにも食べさせました。
5. 神様に背くこと、神様から心が離れること、それが「罪」です。
6. 罪にも悪魔の誘惑にも勝った方はイエス様です！イエス様を信じ、イエス様についていけば、私たちはもう一度、神様の愛のもとに戻って、新しく生きることが出来るのです！



5月10日 両親に従うことの意味 エペソ人への手紙6・1~4

1. みなさんのお父さん、お母さんはどんな人ですか？やさしい人？ちょっと怖いかな？
2. しかし注目してほしいことは、この聖書のみ言葉には「主にあって」と書かれていることです。ただやみくもにお父さん、お母さんに従うということではなく、まず私たちと神様との関係が大切なのですね。
3. 私たちの心には、自分中心という罪があります。神様よりも自分、他のお友だちや兄弟よりも自分、お父さん、お母さんよりも自分という心を持っているのです。
4. 天のお父様は大切なひとり子であるイエス様を十字架につけてくださいました。私たちが永遠の死ではなく、天国に行けるようにひとり子イエス様をお与えくださったのです。
5. 今日の聖書箇所最後には「父たる者よ。子供をおこらせないで…彼らを育てなさい」とあります。まずは両親がどんな人かが大切なのです。
6. 最近は子どもにもすごい暴力をふるったり、十分に子育てをしないような親がいます。毎日のように、そのような親が子どもを死なせてしまうニュースを聞きます…。

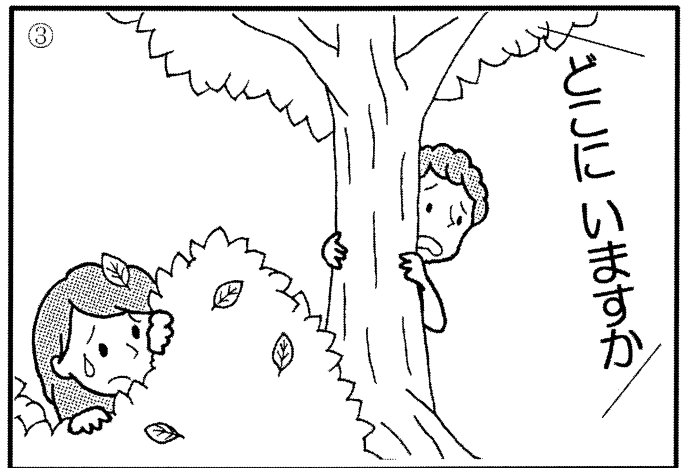
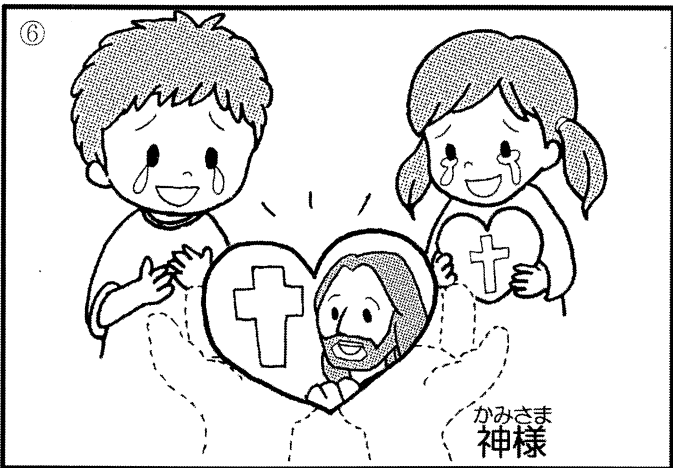
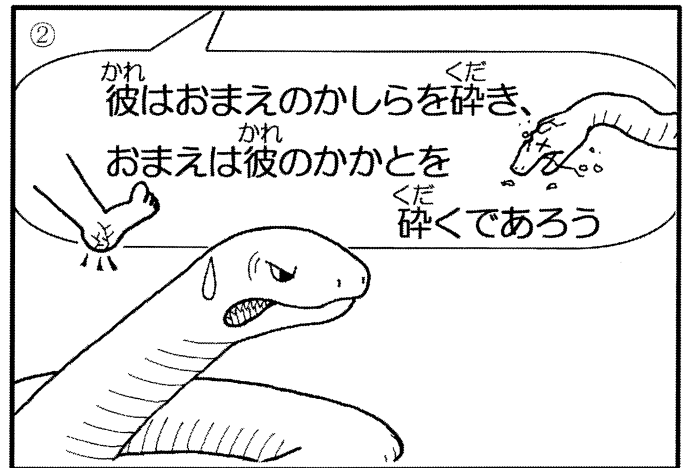
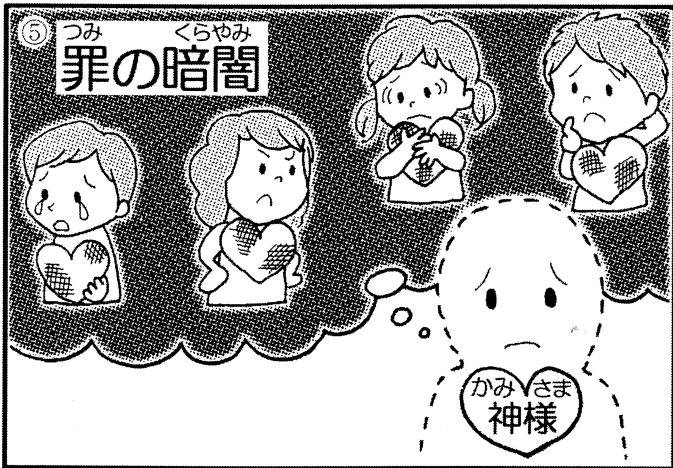
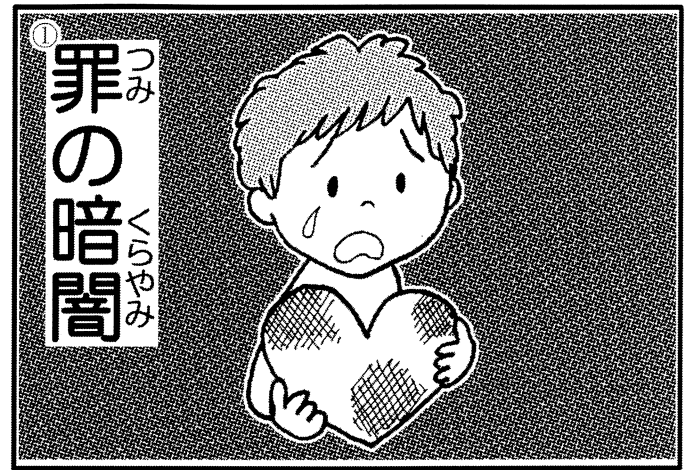
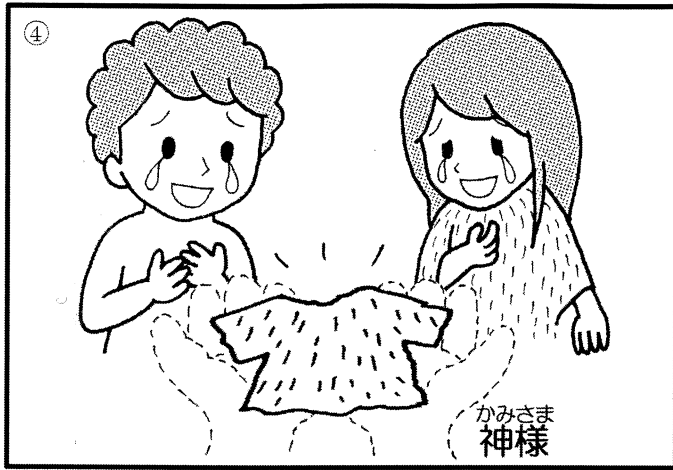
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



5月17日 罪の結果 創世記3・6～19

1. 主なる神様が造られた世界、それは最初、とても素晴らしく、幸せな世界でした。
2. では、この神様の大事な約束を破ったら、どうになってしまうのでしょうか？こう言われています、「それを取って食べると、きっと死ぬであろう。」
3. 自分を隠さないといけなくなりました。
4. 罪を認めず（「ごめんなさい」を言わず）、他の人のせいにするようになりました。
5. 体が死ぬだけではなく、霊が死ぬのです。それはどういうことかと言うと、神様から完全に捨てられる、ということです！
6. ところが教会のおばさんが教えてくれました。ボクが地獄に行かないで済むために、イエス様が身代わりに十字架にかかって、神様から捨てられてくださったんだ、と。

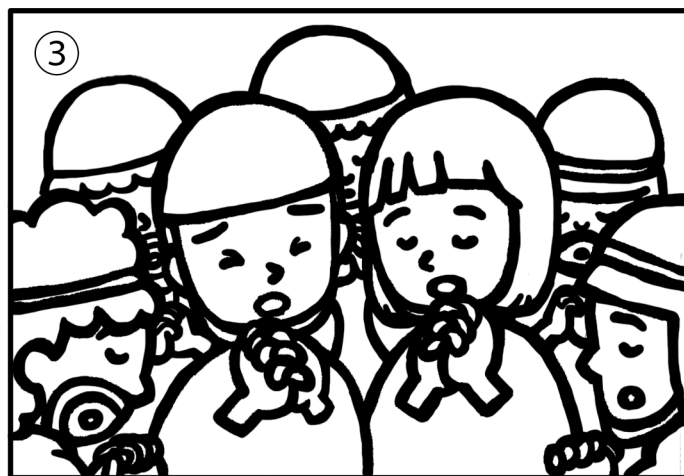
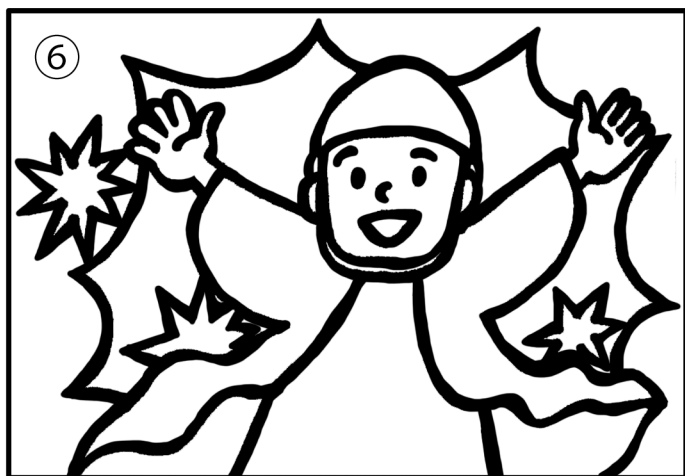
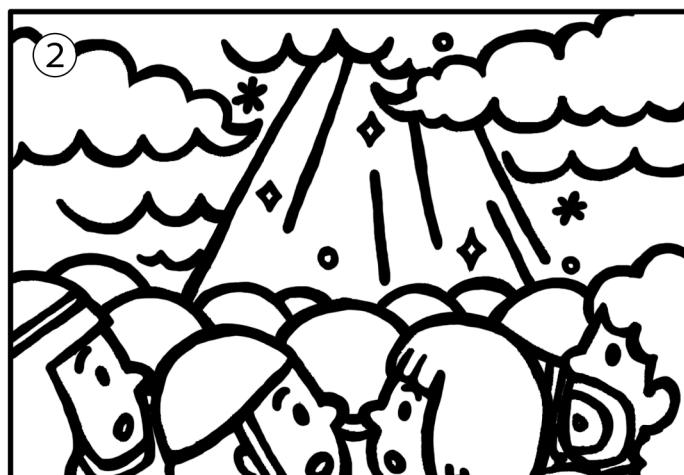
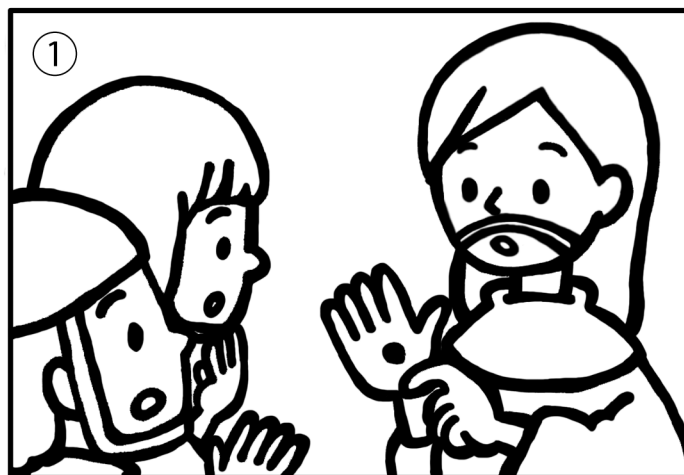
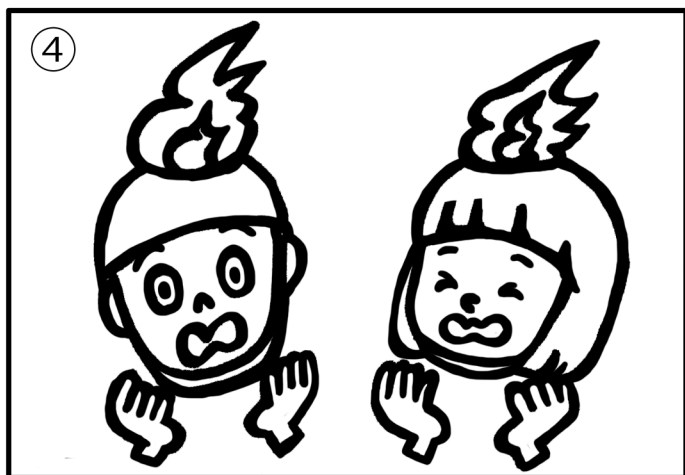
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



5月24日「イエスさまに救って頂こう！」創世記 3・14～24

1. 私たちは罪人となり、罪の暗闇に閉じ込められてしまった。
2. 神様は、悪魔を必ず滅ぼされることを約束された。
3. 神様は、裏切って逃げ隠れするアダムとエバを、捜された。
4. 神様は、アダムとエバに皮の着物を与えられた。
5. 神様は、私たちを愛され、罪の暗闇から早く救われて欲しいと願っている。
6. 神様は、私たちを救うためにイエス様を与えてくださった。

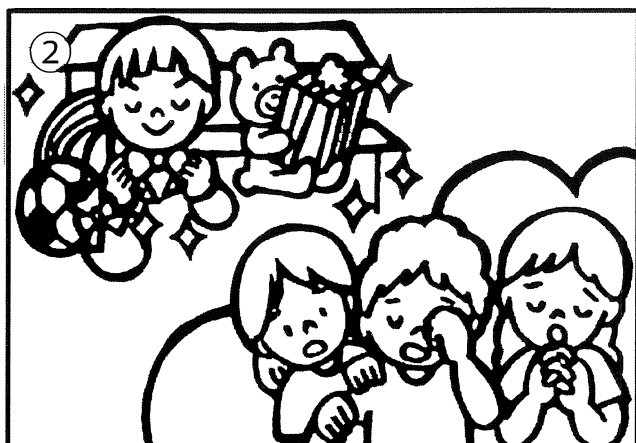
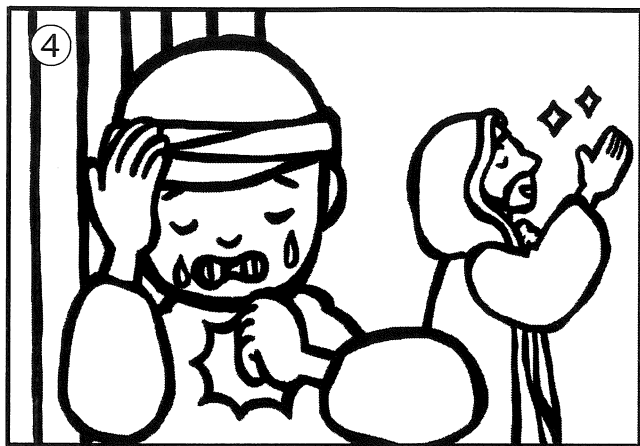
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



5月31日 聖霊があなたにも降る（ペンテコステ） 使徒行伝2・1～11

1. イエス様は十字架で亡くなって復活された後、四十日間、何度も弟子たちにあらわれました。
2. 四十日目に大勢の人が見ている前で、オリブ山から天にお帰りになられました。
3. 弟子たちは、約束の聖霊を待つためにエルサレムの一室にあつまり、心を合わせてお祈りをしました。
4. 突然「ゴォーッ」と激しい風の吹いてくるような大きな音がして、家全体に響きわたりました。そして、舌のようなものが炎のように分かれて弟子たち一人ひとりの頭の上にとどまりました。
5. 弟子たちは聖霊に満たされて、御霊の語らせるままにいろいろの他国の言葉で語りだしました。
6. 聖霊の力が働いて、ダイナマイトのように弟子たちを砕いて一瞬のうちに全く新しく造り変えられました。

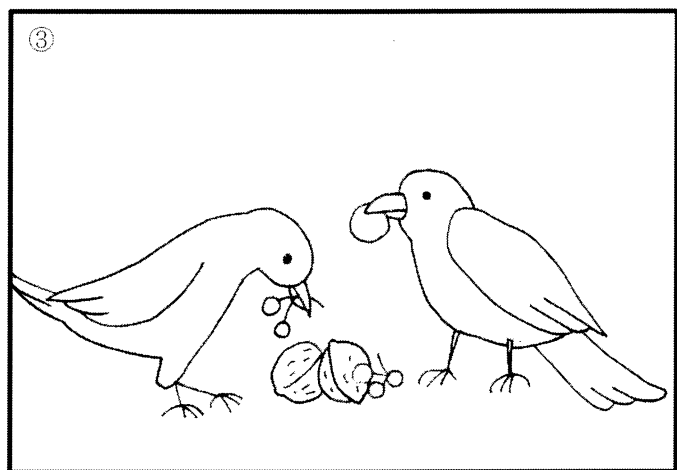
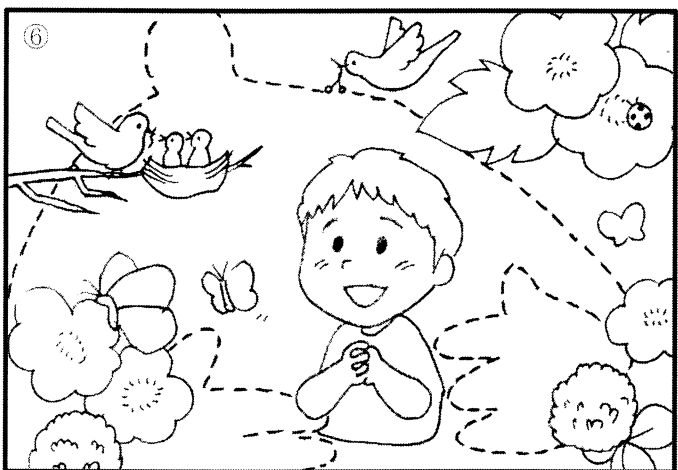
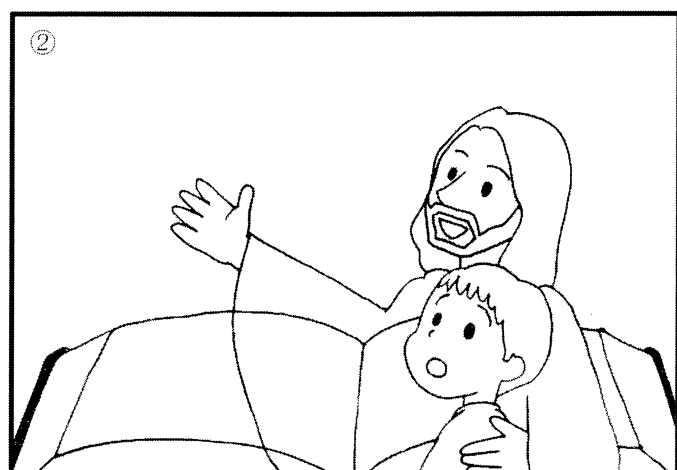
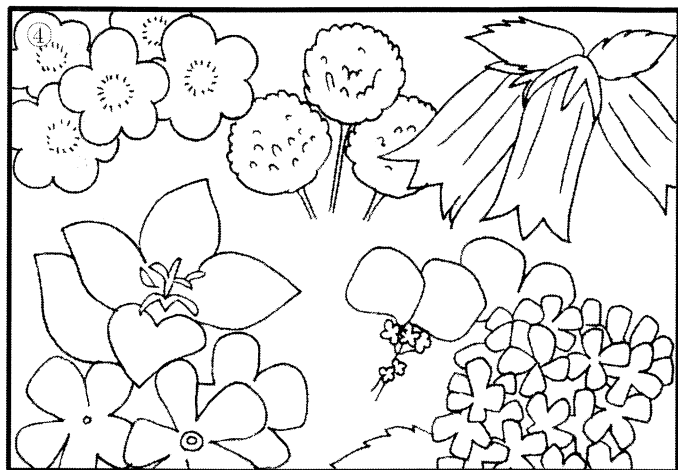
※各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大



6月7日 本当に幸せな人とは？ マタイ5・1～12

1. イエス様は山に登って弟子たちにお話をされました。
2. イエス様は「心の貧しい人」「悲しんでいる人」これらをみな、さいわいだと言われました。イエス様の教えてくださる幸せとはどんなものでしょう。
3. 二人の人が祈るために、宮に行きました。パリサイ人は宮に入ると胸を張って祈りました。
4. 一方、収税人は宮の隅で目を伏せ、悲しみのあまり胸を叩きながら、「神様、罪人のわたしをおゆるしてください」と、うめくように祈りました。
5. 「神に義とされて自分の家に帰ったのは、この収税人であって、あのパリサイ人ではなかった。おおよそ、自分を高くする者は低くされ、低くする者は高くされるであろう。」(ルカ 18・9～14)
6. 神様は、自分の力ではどうしようもないとわかって「神様、助けてください」とお願いする人に知らんぷりをされません。必ず祈りに答えて、慰め励ましてくださるのです。

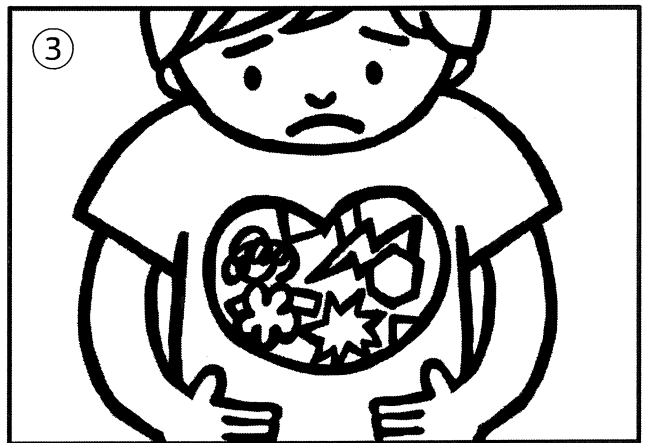
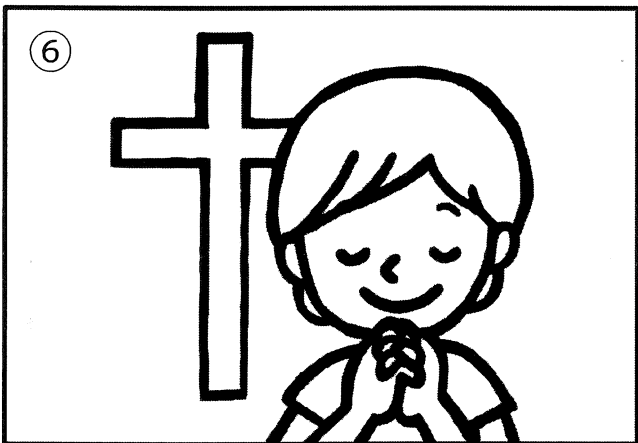
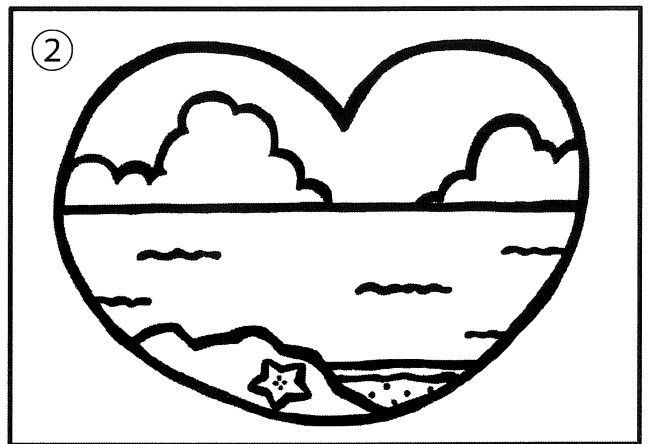
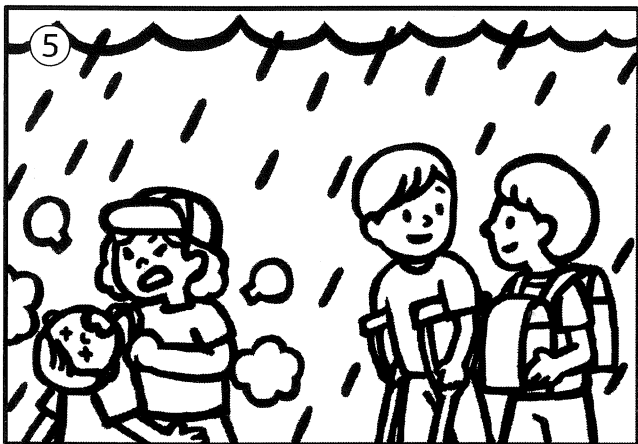
※各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大



6月14日 「神さまを信頼しよう。」 マタイ 6・25～34

1. 思いわずらっている男の子。
2. イエス様は思いわずらわなくてもよいとおっしゃった。
3. 神様に養われている鳥。
4. 神様は草花を綺麗に装ってくださる。
5. 必要なときに必要なものを備えてくださっている神様を知った男の子。
6. 思いわずらっているときに神様に祈る男の子。空の鳥や草花を通して、備えてくださる神様を信頼する。

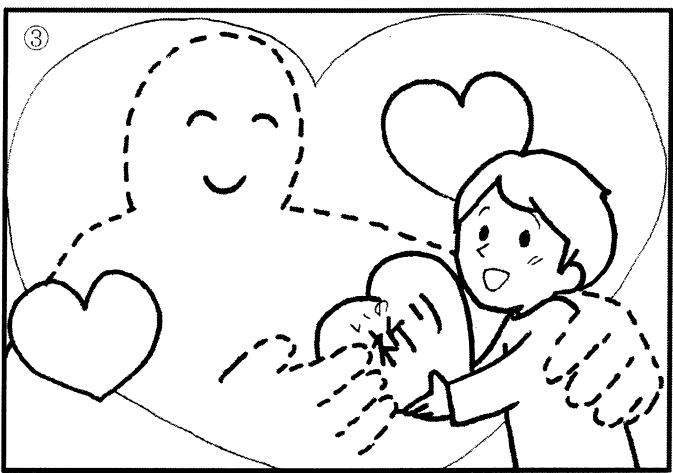
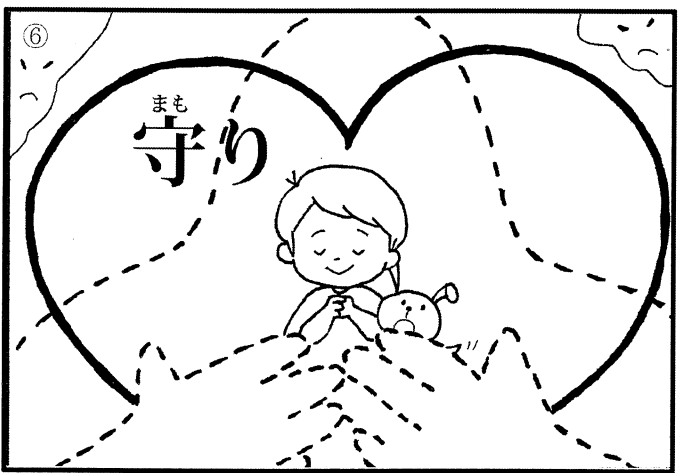
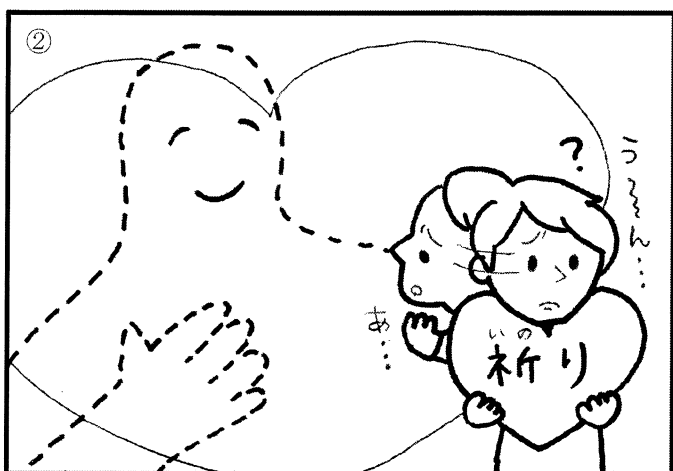
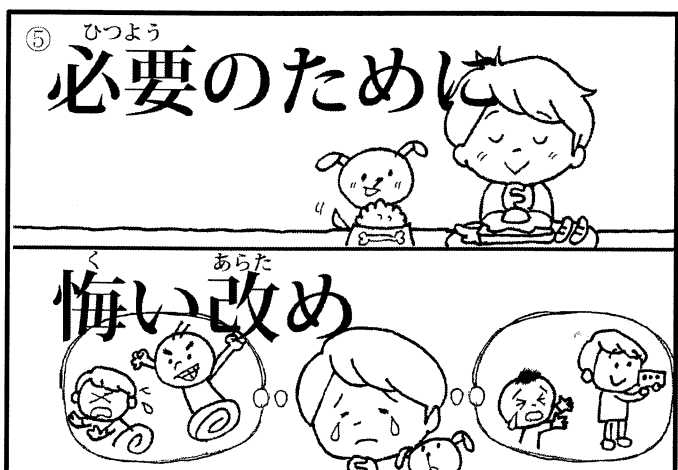
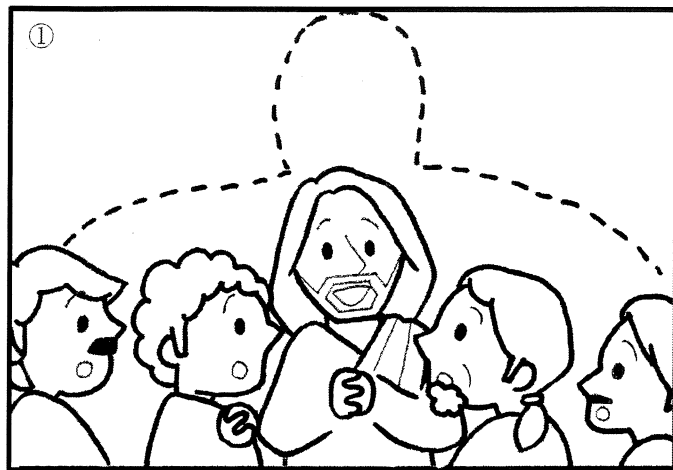
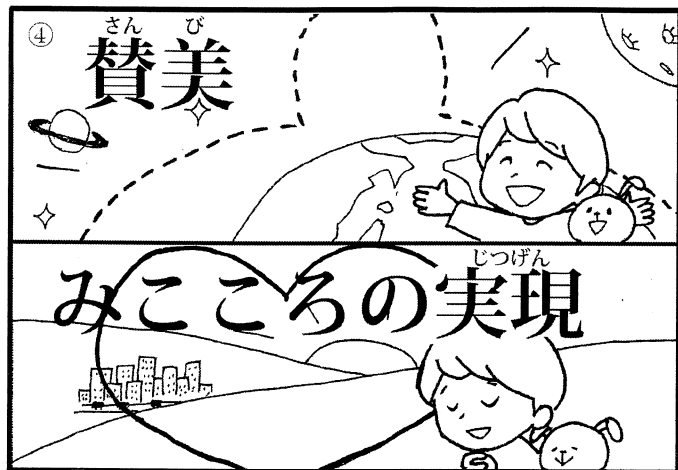
※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。



6月21日 天の神さま、お父さま マタイ5・43～48

1. あなたはお父さんが好きですか？
2. 天の神さまのお心は海のように広く、天のように高く人を分け隔てされません。
3. 人間の心には人を選び好みしたり、差別したりする醜い心が潜んでいます。
4. 祈ることは呼吸です。苦しい思い、憎しみの心を声を出してイエス様に向けてはきだしてください。そのことを通して、新しい道が必ず開かれてきますから。
5. 「天の父は、悪い者の上にも良い者の上にも、太陽をのぼらせ、正しい者にも正しくない者にも、雨を降らせて下さるからである。」
6. 自分の思いや考えのままに生きるのではなく、イエス様が十字架で私のために死んでくださったことを心に覚え、イエス様にならう者にしてください、どんな人も愛する心を与えてくださいと祈りましょう。

※各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大



6月28日 「喜んで主の祈りをささげよう！」 マタイ 6・7～13

1. イエス様が弟子たちに、祈りの心得を教えている。
2. 祈りが苦手な男の子。
3. 神様に、素直な気持ちを率直に伝える男の子。
4. 主の祈り〈賛美〉天地創造の神様を思っている。
〈みこころの実現〉神さまのみこころが地にも行われるように祈っている。
5. 主の祈り〈必要のために〉食事をするところ。〈悔い改め〉嫌な相手、自分の罪を思っている。
6. 主の祈り〈守り〉悪しき者から、神様に守られている。

※ 各絵をA4サイズに拡大するには、まず原画を200%拡大し、更に141%拡大する。A3サイズは200%拡大し、更に200%拡大。